

MESSAGE

## 病院長のご挨拶

CONTENTS [目次]

・管理栄養士とは

INFORMATION [インフォメーション]

第7回 開放型病院運営管理会議、共同診療会議を開催

特集

SPECIAL ISSUE

管理栄養士とは



| 表紙 | すずかけセントラル病院 診療技術部 栄養科 管理栄養士 小池 美奈実

INFORMATION

### 第7回 開放型病院運営管理会議、共同診療会議を開催

2019年11月29日、グランドホテル浜松にて、開業医の先生方と「患者さんにとってより良い地域医療体制の実現」のための会議が開催されました。また、脊椎外科の大井政芳医師による「低侵襲脊椎外科手術」の講演では、活発な意見交換が行われました。



### 休日当番医のお知らせ

2月11日(火・祝)は  
休日当番医となっています。  
詳細は新聞等でご確認ください。

### 健康講座を開催します! (予定)

すずかけグループでは、定期的に健康講座を開いております。この機会に是非お出かけください。

日時 2020年 3/14 (土) 13:30~15:30(開場13時)

場所 アクトシティ浜松コンgresセンター 41会議室

■お申込み・お問い合わせ ▶ TEL. 053-443-1155 (平日9:00~17:00)

### 第14回 すずかけグループ健康講座 (予定)

指定発言 | 寺田 和弘 | 寺田痛みのクリニック 院長

講演 | 三村 真一郎 | すずかけセントラル病院 麻酔科  
大井 政芳 | すずかけセントラル病院 脳神経外科 脊椎センター長

### バス停のご案内

当院へバスでお越しの方は、最寄りの「すずかけセントラル病院」または「田尻橋北」のバス停からが便利です。病院へは、歩行者用の出入り口をご利用ください。



### バス時刻表

#### 「小沢渡」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 柏原西		2 田尻橋北 ⇒ 柏原西	
月~金	土・日祝	月~金	土・日祝
6時		6時 [50]	[58]
7時	[45]	7時 [30]	[46]
8時	[26] [55]	8時 [24] [53]	[22] [51]
9時	[25] * [55]	9時 [23] * [53]	[21] * [51]
10時	[25] * [55]	10時 [23] * [53]	[21] * [51]
11時	[25] * [55]	11時 [23] * [53]	[21] * [51]
12時	[25] * [55]	12時 [23] * [53]	[21] * [51]
13時	[25] * [55]	13時 [23] * [53]	[21] * [51]
14時	[25] * [55]	14時 [23] * [53]	[21] * [51]
15時		15時 [24] * [54]	[24] * [54]
16時		16時 [25] * [55]	[24] * [54]
17時		17時 [25] [55]	[24] [54]
18時		18時 [25] [55]	[24]

#### 「浜松駅」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 浜松駅		2 田尻橋北 ⇒ 浜松駅	
月~金	土・日祝	月~金	土・日祝
6時		6時 [11][37]	[26]
7時		7時 [07][26][47]	[09][30][50]
8時		8時 [09][29][49]	[19][57]
9時	[22]	9時 [24]	[23]
10時	[03] [34]	10時 [05][36]	[05][35]
11時	[04] [34]	11時 [06][36]	[05][35]
12時	[04] [34]	12時 [06][36]	[05][35]
13時	[04] [34]	13時 [06][36]	[05][35]
14時	[04] [34]	14時 [06][36]	[05][35]
15時	[04] [34]	15時 [06][36]	[05][35]
16時	[04] [34]	16時 [06][36][53]	[05][35]
17時		17時 [05][36]	[04][34]
18時		18時 [36]	[34]

す:すずかけセントラル病院経由 水:浜松市総合水泳場行 三:産業展示館東経由 三立製菓行  
【】内は超低床ノンステップ(オムニバス)運行予定(車両整備等により「オムニバス」で運行できない場合があります。)

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。令和になって初めてのお正月でした。私は家の大掃除に明け暮れましたが、日頃(あえて)見過ごしていた部分が綺麗になると心までスッキリとした気持ちになりますね。令和2年が皆さまにとって良い1年となりますように願っています。



浜松市南区田尻町120-1  
TEL.053-443-0111 FAX.053-443-0112  
http://www.suzukake.or.jp/central/ 携帯からはこちら▶



発行 すずかけセントラル病院  
広報委員会  
発行日 2020年 1月17日



# 病院長 のご挨拶

MESSAGE

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

さて開院以来、旅人を癒す「すずかけの木陰のやさしさ」のように、「患者さんを癒す、やさしい医療を提供する病院」をモットーに努力してまいりました。当院のように、一般病棟だけでなく回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、障害者病棟、療養病棟などの機能を持つ病院を「ケアミックス病院」あるいは単に「多機能病院」と言われています。この病棟機能を地域住民の皆様にご活用して頂くことで、病院と地域の密接な関係作りに心がけて来ました。

一般病棟では、医師が各々の専門領域の診療を中心に治療の枠を広げております。新たに、内視鏡を用いて患者さんへの手術負担を軽くする脊椎外科手術や、手足の血管外科手術、そして麻酔科ペインクリニックが加わり、当院の専門治療の幅が広がっております。

これまでは、県西部地域の救急医療をメインとした病院での治療後に、体力や生活機能回復を目的とした患者さんを受入れる病院として実績を重ねて参りました。今年は、さらに地域に密着した病院としての役割を果たすために、地域連携室を中心に診療所の先生方が診られている患者さんや、在宅療養での患者さんの「家族のための一時的入院」、「リハビリを兼ねた検査、体力の維持、回復」など、診療の一助として当院を利用していただけようスピーディーな対応を致します。

健康管理センターでは、消化器内視鏡検査及び各診断機器(CT, MRI)を効率よく利用した人間ドックの充実を行い、時代に則した内容に改善いたします。ご利用者様の健康管理と疾病の早期発見にも努めてまいります。

本年も皆様にとって良い年であることをお祈り申し上げます。

すずかけセントラル病院 病院長 横山 徹夫

## 特集

SPECIAL ISSUE

# 管理栄養士とは

筆者

すずかけセントラル病院  
診療技術部 栄養科  
管理栄養士 課長  
渡邊 美登利

### はじめに

今日、食に関する情報は、テレビやインターネットなどに溢れています。多くのメディアでは毎日のように健康や美容、痩身、病氣治療、体質改善など、様々な情報が発信されています。その中で、「必要とする正しい情報は何か」を判断するのに困ったことはありませんか？ そんなときに、

頼りにしたいのが食と栄養のスペシャリストではないでしょうか。今回は、食と栄養の専門知識と技術を持つ管理栄養士についてご紹介します。

管理栄養士とは、厚生労働大臣の免許を受けた国家資格です。現在、全国で約九万人の管理栄養士が病院

や福祉施設、小・中学校や行政機関及び企業などで働いています。健康な人や病気を患った人、小さな子供から高齢者まで、多くの人たちに関わる職業です。

ここでは、病院での管理栄養士の仕事についてお伝えします。



### 栄養指導

医師により、栄養指導の必要性が認められた外来患者又は入院患者が対象になります。

外来での栄養指導は、主に糖尿病や脂質異常症、高血圧症など生活習慣病の患者さんを対象に行っています。食事療法は治療の基本ですが、中々行動に移せない、継続できない患者さんも多く見られます。食生活は、嗜好はもろろん職業や家族構成などの影響を受けることがあるため、型に嵌まった指導では患者さんの行動変容に繋げることはできません。そのため、食事療法の重要性を伝えるとともに、個々のライフスタイルに合わせた継続可能な食事の提案に努めています。

入院患者さんには、病氣治療に必要な食事療法と退院後の食生活の注意点などを説明しています。また最近では、がんの治療をされている患者さんや嚥下機能が低下した患者さんへの指導も行っています。がん治療を受けている場合、その副作用により嘔気などの消化器症状や口内炎、味覚の変化などにより思うように食事が摂れないことがあります。それぞれの症状に合わせた食事の提案や栄養補助食品等の紹介をしています。嚥下機能が低下した患者さんには、そのご家族も含めて調理指導をすることで、「最後まで口から食事を摂りたい」という患者さんの思いに添えるよう努めています。

### 栄養管理

各病棟に専任の管理栄養士を配置して、入院患者の栄養管理を行っています。身体計測や血液検査の結果より、患者さんの栄養障害の有無と程度を評価し、栄養量の過不足について確認をしています。

食事の時間に訪問してお話を伺いながら摂取量を確認し、提供量や食形態が適正であるかを確認しています。特に食形態については、言語聴覚士や摂食・嚥下機能認定看護師と連携し検討を行っています。経管栄養の患者さんの場合、発熱や下痢などの消化器症状のトラブルを起こすことがあります。そのため、症状や状態に適した経管栄養剤や投与方法について主治医に提案し、改善に努めています。

その他に、病棟カンファレンスや病棟回診に参加し患者情報を職種で共有して、早期退院に向けて取り組んでいます。



### チーム医療

栄養サポートチーム(NST: Nutrition Support Team)を中心に、褥瘡対策チーム

緩和ケアチームに参加しています。

栄養サポートチームは、適切な栄養管理法の選択や適切かつ質の高い栄養管理の提供、早期栄養障害の発見と早期栄養療法の開始などを目的に活動しています。

「栄養管理」は、すべての病氣治療のうえで共通する基本的医療の一つであるため、栄養不良が治療の妨げにならないよう専門的な知識を有した医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師など多職種と連携して、患者さんの栄養管理に努めています。



### 保健指導

近年、生活習慣病といわれる人の割合は年齢とともに増加傾向にあり、生活習慣病を起因とする病気が亡くなる人の割合が上位を占めています。

生活習慣病はその名の通り、生活習慣の乱れから起こる病気です。毎年、健康診断を受けていても自分が生活習慣病の予備軍であることに気づいていない人が多

く見られます。

「受診の必要がないから大丈夫」と乱れた生活習慣を続けた結果、生活習慣病を患い、更には命に関わる大きな病気へと繋がってしまいます。

私たち管理栄養士は、保健師とともに人間ドックの利用者に個別指導と集団指導を行っています。個別指導では、健診結果を踏まえて食事や運動、禁煙に関するアドバイスと生活習慣病について分かりやすく伝えるよう努めています。集団指導では、人間ドックの利用者に興味を持って頂けるよう毎年テーマを変えて行っています。現在は「適塩」をテーマに、塩分の摂り過ぎによる弊害や塩分を控えるポイントについてアドバイスしています。



### おわりに

食は人にとって欠かせないものです。そのため、多くの人が食に興味を持ち、様々な情報を得ようとします。管理栄養士の役割は、その多くの情報の中から「正しい情報が何か」を見極め、その情報を「必要としている人」に発信していくことです。

今後も様々な場面で、その役割を担えるよう努めていきます。